

生ごみ堆肥化容器等購入補助金を利用した方々を対象にアンケートを実施しました。使用してみて良かったことや悪かったこと、これから使用予定の方へのアドバイスなど貴重な意見をいただきました。

すでに使用している方やこれから使用を検討している皆さん、参考に見てください。

ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

平成19～21年度 補助金利用者の声（平成21年度アンケート実施）

【電動処理機利用者】

（良かったこと）

- 可燃ごみの量が減った
- 夏場臭いが無くて快適
- 生ごみがすっきり処理でき、肥料にリサイクルできる
- 台所の生ごみの臭いが減った
- 悪臭が無く、虫が寄ってこない
- 生ごみがたまって処理に困る、ということがなくなった
- 生ごみの処理が楽になった
- 生ごみをすぐに処理できる（夏は特に良い）
- 処理物は、水気がなく取り扱いやすい

（悪かったこと）

- 処理に時間がかかる
- 処理機の処理能力を超えて使用すると、使用不可になる
- 処理したものを使うまでに2ヶ月くらい土と混ぜておく必要があることを知らなかった
- カップの下に入った汚れが取れずストレスを感じる
- もう少し大きいものが欲しかった
- 水分が多いと乾燥させてから処理しなければならない。
- 生ごみを少量ずつ運ぶのがちょっと手間
- 細かく切らなければならないので面倒だ
- スペースの問題がある。使用するとき周りのモノを片付けなければならない。
- 処理できるものとできないものの分別、投入できる大きさまでの処理が面倒だった。

（今後購入予定の方へのアドバイス）

- 細かく切ってから処理すると、処理時間が早い
- 繊維質の高い野菜はなおさら細かく切る
- 自分の家の1日あたりの排出量を事前に調査してから購入した方が良い。
それによって機械の容量などを確認する。
- 慣れてくると楽しいです。
- 野菜類は水切りをしてから処理すると早い（新聞紙も利用できる）
- バイオ型処理機は臭いが発生するので、周囲に配慮が必要
- 説明書をしっかり読んで操作すること
- 乾燥式は簡単でわかりやすい
- 同じものでも店によって価格差があるので数件見積もりをもらった方が良い
- 魚は湯通し（火をとおしてから）処理すると早い
- 予約タイマーを利用し深夜電気を利用する
- 処理後に出たくずをどのように利用するか検討してから購入した方が良い
- バイオ式ではなく乾燥式で十分だと思う。
- 雨水を貯めて草花に使用している
- 想像以上に臭いが出るので、設置場所に注意

【堆肥化容器等の利用者】

(良かったこと)

- 生ごみの減少、可燃ごみの減少
- 良い野菜がとれるようになった
- 生ごみが気楽に処理できる
- 子供と一緒に作業するため、資源の大切さを自然に教えることができた
- 今までの台所は生ごみの臭いがしたが、無臭となった
- 生ごみの臭いがでなくなり、家族からの批判もなくなった

(悪かったこと)

- 臭い
- 手間がかかり、効果的に使えなかった
- 手間がかかりめんどくさい。根気が要ります
- 臭いの発生があるため、近所の理解が必要
- なかなか堆肥化しない
- 容器をその都度洗わなければならない
- ハエや虫が多くなった
- 発酵促進剤が高価
- 隣近所のことを考慮し容器内で貯蔵するため、効果がみえにくい
- 畑にミミズが多くなり、もぐらの出現率が高くなった。

(今後購入予定の方へのアドバイス)

- 虫の発生が認められる。ふたの隙間から入るようだ。
- 水切りをよくしてから処理する
- (生ごみ+ボカシ)では臭い有。土と雑草を混ぜると良い。
- 量が多くなると作業が大変
- 魚のアラは熱湯をかけると早く処理できる
- 1つで処理できないため2つを交互に使用する
- 使用前に隣近所に使用することを伝える。苦情予防のため。
- 土に埋めると虫がわくので薬剤を入れる
- 夏は日陰の軒下、冬は南側の軒下に置き毛布で囲んでいる。直射日光を避けて、保温のため。
- 気温が低いと発酵が進まない
- 発酵材をかけたあと、少し多めに土を入れると発酵が早い
- せっかく購入したので、使いこなしたいので逆にアドバイスが欲しい
- 住宅密集地の方は高価でも電動式の機器をお勧めします
- 手間がかかり根気がいらいます。楽しくやることが大事
- 絶対に虫が入らないようにする(卵を産み増えるから)
- 臭いがでるので、周りへの配慮を忘れないこと(設置場所)
- 容器自体に発酵しやすい素材が使われているものもあるので、購入時に注意深く選定する

平成17年度・18年度補助金利用者の声（平成19年度アンケート実施）

	電動処理機（乾燥型）	電動処理機（バイオ型）	密閉式バケツ	ダンボール箱
メリット	ごみ袋が軽くなった。	ごみ袋が軽くなった。	堆肥を畑で使用していますが、おいしい野菜ができるようになった。	
	肥料としても利用可能	原型はほとんど残らない		
	運転中のみ臭いが出る。乾燥していなければ臭いはでない。	冷蔵庫くらいの騒音を感じた。寝室に近くなければ問題なし。		
	運転中でなければ、騒音は無い。			
デメリット	卵の殻は処理できなかった。	1週間程度は臭いがしたが、その後は気にならない。	失敗が多くなり気持ちはあってもなかなか再挑戦できない。	軽いカビ臭、山の土の臭い、発酵臭がする。
	みかんの皮や野菜・果物の種など処理できないものがあった。	攪拌時に野菜や果物の繊維が攪拌棒にひっかかることがある。	鼻につく臭いだけが残り、やる気がおきなかった。	暖かくなると小バエなどが発生しやすい。
	運転中多少の臭いが発生する。魚のあらなどを入れると臭いがきつい	卵の殻は処理できなかった。	時間と余裕がなく断念してしまった。	
	運転中、少し気になる程度の音が出る	みかんの皮ワックスが塗布されており処理できず原型が残っていた		
	もっと処理機の容量が大きいほうがよかった。	チップ材の水分調整が必要となり、管理が面倒だった。		
	処理機に入れる際は一度細かく裁断するため非常に手間がかかった。	処理機設置後1週間は大変ひどい臭いがした。		
その他			個人で始めるよりも、グループ、地域など団体で徐々に進めればよいのではないか。	カビやダニの発生もあるのでアレルギーを持っている人は室内での堆肥化は避けたほうが良い。